



# 東やまと

第89号

令和4年(2022年)1月11日  
編集：学校教育部教育総務課  
〒207-8585 東大和市中中央3-930  
TEL 042-563-2111

# 教育委員会だより



左から 内野委員、岩田委員、真如教育長、藤宮委員、鈴木委員

新年あけましておめでとうございます。

新しい年が皆さまにとってよりよき年でありますよう、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

新成人の皆さまには、健康にご留意しながら社会を構成する一員として存分に力を発揮してってください。

さて、学校教育につきましては、昨年度、児童・生徒一人1台のタブレット端末を配布しました。今年は、この一人1台端末を最大限に活用し、新しい学びと多様な学習機会を創出してまいります。

また、社会教育につきましては、これまで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催を見合わせていた様々な事業が再開できるよう、感染防止対策や開催方法など、あらゆる視点を踏まえて準備を進めてまいります。

変化の激しい、不透明で不確実な未来を生き抜くために、学校教育分野、社会教育分野を含め、今後も歩みを止めることなく教育の充実に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 東大和市立第三中学校創立50周年記念

校長 久森 信

昭和47年4月1日に、東大和市立第三中学校が現在の地に開校しました。当時は学校の周りに住居も少なく、茶畑と麦畑が広がり、校庭から富士の峰がはっきりと見えたそうです。古い資料から、当時の学校の様子がかがえしました。校章は全校生徒の応募から選び、美術科の先生が中心となって製作されたとのこと。また、校庭周辺の土地整備が追いつかず、雨が降ると泥だらけになる校庭を、職員総出で整備したそうです。これらの様子を当時の記録には、「新生の胎動」という言葉で表していました。先生も生徒も開拓創造の意気に燃えた様子が伝わりました。時代はこれからも大きく変化していきますが、開校の精神に描かれた「誠実・親和・自主」は形を変えずに時代を追い求めていくことなのでしょう。これからも地域に支えられながら第三中学校は生きていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



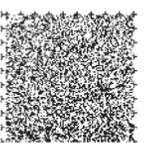
## 東大和市立第五中学校創立40周年記念

校長 和田 孝



本校は第四中学校の生徒数の増加による過大規模を解消するために、昭和56(1981)年6月からの工事を経て、翌年4月1日に開校しました。第1回の入学式は生徒数235名、教職員数22名で挙行されました。それから40年の月日が経ち、昨年度までに4,710名の卒業生が巣立ちました。

本校は今年度、東大和市教育委員会より教育課題研究指定校に指定され、市から貸与されている「生徒1人1台タブレット端末」の活用方法を研究しています。9月までにはリモート授業の実践が始まり、全教科で感染症や自然災害による休校等でも学びを滞らせないことが可能になりました。子供の学習権をしっかりと保障し、保護者や地域の皆様の思いや願いを実現できるよう今後とも職員一同で努めて参ります。



SPコードは専用読取装置で文字情報を音声で聞くことができます。

# 協働的な学び

端末を使って、生徒総会をオンラインで開催しています。



## GIGA SCHOOL



端末を使って、自分の考えや思いを友達に伝えています。

# 1人1台端末で深い学びが加速する年

## 個別最適な学び

令和3年4月より、全ての児童・生徒に1人1台のタブレット端末が配備され、学校や家庭など、様々な場面で活用されています。今年、1人1台端末をさらに活用し、教科の学びを深めていきます。



端末で写真を撮り、植物の観察をしています。



専用ペンを活用して、端末上で漢字を書きこんでいます。

第21回

## 東日本学校吹奏楽大会 東大和市立第一中学校 東京都立東大和高等学校 吹奏楽部 受賞!

第21回東日本学校吹奏楽大会が、札幌コンサートホール Kitara で2年ぶりに開催されました。中学校部門では東大和市立第一中学校が銅賞を受賞しました。高校部門では、東大和市内の東京都立東大和高等学校が銀賞を受賞しました。

### 第一中学校 吹奏楽部

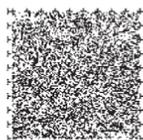
### 東大和高等学校 吹奏楽部



神話が題材の「鳥之石楠船神(とりのいわくすぶねのかみ)」を披露



予選会の様子 西村朗の「秘儀II」を披露



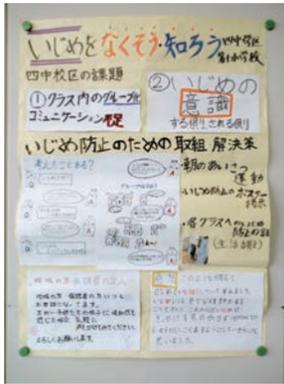
## いじめ防止シンポジウム

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、児童・生徒及び学校関係者のみのオンライン開催となりました。総勢102名が参加し、各小・中学校がいじめ防止



のための取組について発表しました。

都立東大和高等学校の生徒会の皆さんに、各学校の取組について感想をいただきました。



問合せ 教育指導課 内線1533

## 新型コロナウイルス感染症対策の一環として下記工事を実施しました

～子どもたちのために快適な環境づくり～

### ●水道蛇口自動水栓化工事

学校の夏休み期間を利用し、各小・中学校トイレの手洗いを自動センサー式水栓に交換し、非接触化を図りました。



### ●体育館トイレ洋式化工事

和式トイレの水はねによる感染リスクを軽減するため、小学校の体育館トイレを洋式トイレに交換しました。中学校の体育館トイレは既に洋式化しており、今回の工事で避難所としても利用する小・中学校の体育館のトイレが全て洋式化されました。

問合せ 教育総務課 施設係 内線1223

## 公民館開館50周年記念事業 公民館PRリーフレット&PR動画を作製しました

開館50周年を記念し、実行委員会の協力を得てこのたび、PRリーフレットと動画を作製しました。公民館をまだ利用したことがない方もぜひご覧ください、公民館の魅力を感じてください。

詳しくは「東大和市公式ホームページ」をご覧ください。



問合せ 中央公民館 TEL 042-564-2451

## 狭山公民館の冷暖房機更新工事が完了しました

狭山公民館で実施しておりました更新工事が全て完了しました。工事期間中、ご利用の皆様におきましては、ご理解・ご協力頂きありがとうございました。ぜひ、皆様のご来館をお待ちしております。



問合せ 狭山公民館 TEL 042-565-2700

## 就学通知書を発送します

令和4年4月に、小・中学校へ入学されるお子さんの保護者に就学通知書を発送します。お子さんの入学指定学校を確認し、入学式で学校に提出するまで保管してください。1月末までに届かない場合は、教育総務課までご連絡ください。

また、次の例のような事由の場合は入学指定学校を変更することができます。他の事由等の詳細については、「東大和市公式ホームページ」をご覧ください。教育総務課までお問合せください。

### 【主な変更事由】

- 指定学校を変更した兄・姉が通学する学校を希望する場合。
- 入学指定学校（中学校のみ）に希望する部活動がなく、希望する部活動がある学校を希望する場合。
- 通学区域変更に伴う経過措置により旧指定学校を希望する場合。  
※変更事由によっては添付書類が必要です。

### 【変更申立期限】

令和4年2月28日（月）まで

問合せ 教育総務課 内線1521・1522

## 各小・中学校への災害対応型自動販売機の設置について

東大和市では災害時に避難所となる公共施設を中心に、現在、各小・中学校への災害対応型自動販売機の設置を進めています。

災害対応型自動販売機とは、内部にバッテリーを搭載し、停電時であっても内部の飲料を取り出すことが可能な自動販売機です。地震や台風など大規模な災害が発生した場合には、内部の飲料は無償で避難者等に提供されます。

災害時に避難所へ避難した市民の方へ速やかに飲料水を提供することを目的としており、水以外の飲料も内蔵されているため、避難生活の環境改善にもつながると考えています。

※災害対応型自動販売機の設置は、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社と締結した「災害時における飲料水の提供等に関する協定」に基づき実施しています。



令和4年1月  
全小・中学校に設置完了予定!

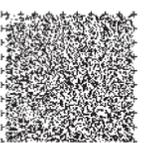


市内小学校に設置された災害対応型自動販売機

問合せ 防災安全課 内線1354

## 令和3年7月～11月 教育委員会の主な可決議案

- 令和4年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書採択について
- 令和4年度使用東大和市立中学校用教科書採択について
- 東大和市立桜が丘図書館及び清原図書館の指定管理者の指定に係る意見の申出について
- 市長の権限に属する事務の委任に係る協議について



# 学校給食のレシピ 真鯛の磯辺揚げ

**令和3年9月に学校給食で真鯛を提供**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、消費が低迷していた国産農林水産物の消費拡大のために農林水産省の実施事業を活用しました。



## 作り方

- 1 材料を混ぜる。  
小麦粉を水で溶き、粗塩、青のりを加えて衣を作る。
- 2 真鯛に衣をつけてから180℃の油で5分間揚げると。

## 材料 (中学生4人分)

	使用量(目安)	使用量
真鯛 (2cm角)	8切れ	67.5g
小麦粉	大さじ2	20.25g
粗塩	ひとつまみ	0.34g
青のり	小さじ1/2	0.41g
揚げ油	適量	適量

※真鯛以外の魚でも作ることができます。



## ひなまつり

郷土博物館に春を告げる、おひなさまとつるし飾りを展示します。毎年ご好評をいただいている手芸講座と子供工作を開催し、豆知識のご紹介もあります。皆様のお越しをお待ちしています。

期 間: 令和4年2月11日(金・祝)～3月3日(木)  
時 間: 午前9時～午後5時  
会 場: 東大和市立郷土博物館  
休館日: 月曜日・2月15日(火)・24日(木)

詳しくは、「東やまと市報」「東大和市公式ホームページ」をご覧ください。

問合せ 郷土博物館 TEL 042-567-4800



## 第一小学校

## 学校じ・ま・ん

校長: 濱脇 哲也

校庭にそびえる大いちょうの木



第一小学校は大正12年3月15日に設立され、来年度創立100周年を迎える市内で最も歴史ある学校です。創立当初は村で唯一の公共施設として、様々な行事が校庭で実施されていたとのことです。また、東大和市中で活躍されている先輩の多くが第一小学校の卒業生であるという話を聞き嬉しく感じます。

校庭を見渡すと校庭の真ん中に大いちょうの木がそびえています。この木は初代校長、小島富蔵先生が平屋校舎の前面に植えた6本のイチョウの木のうちの一本です。その後校舎が建て替えられましたが、このイチョウの木だけが残されたとのことです。それ以外にも校庭には古い大きな樹木が多く残り、本校の長い歴史を物語っています。しかし、調査から老化している樹木も多くあるとの報告を受け、今後は順次対応していかなければなりません。

本校は北側に多摩丘陵、多摩湖、狭山湖をかかえ豊かな自然を生かした様々な学習に取り組んでいます。都会への通勤も可能な利便性を備えながら、恵まれた自然環境に包まれ、子供たちの豊かな心を育成しています。さらに、東大和市立郷土博物館の支援を受け、より専門的な科学教育を推進しています。具体的には全学年が毎年東大和市立郷土博物館へ出かけたり、職員の方に来ていただいたりして年間計画に沿った自然環境を生かした体験学習を進めています。

このように貴重な体験的学びを可能としている本校の自然環境や地域の人材に大変感謝しながら、子供たちの育成を進めていきたいと思ひます。



自然環境を生かした体験学習

